

住友理工、「北九州市物流シンポジウム 2014」参加

住友理工株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、福岡県北九州市で開催された「北九州市物流シンポジウム 2014」に参加しましたので、お知らせいたします。



シンポジウムに登壇する石川担当次長（左から2人目）

当社グループは、原材料や製品の輸送効率を高め、コストを抑えながら的確な物流体系を構築する取り組みを進めています。当社の物流子会社、株式会社 TRI ロジテックが2011年9月に北九州市門司区に設立した「TRI ロジテック 北九州物流センター」は、本社のある愛知県から九州・中国地方、さらには中国・韓国との輸送ルートにおいて、陸上トラック輸送の代わりに海上フェリーを活用することにより、環境への負荷低減と経費抑制、ドライバーの負担軽減に貢献しています。

シンポジウムでは、当社のほか、西日本高速道路株式会社様、阪九フェリー様、北九州市港湾空港局様の担当者が登壇し、それぞれ荷主や道路会社、輸送機関、行政当局の立場で、北九州市を拠点とする物流施策について議論を深めました。

当社を代表して物流企画室の石川剛一・担当次長が、北九州市の物流拠点としての優位性について「九州の交通の要衝である北九州市は、当社のお客様への輸送利便が高く、当社グループの物流業務にとっても非常に有効な立地であり、『北九州物流センター』の果たす役割は大きい」と強調しました。また、北九州市に物流拠点を設けたことによるフェリーの有効活用について、「最大のメリットはCO₂排出削減とコスト抑制だ」と指摘しました。

<TRI ロジテック 北九州物流センターの概要>

所在地 : 福岡県北九州市門司区新門司 3-62-1
建屋面積 : 約 4,000 m²
事業内容 : 当社グループ製品の保管、検査、梱包
従業員数 : 22名
設立日 : 2011年9月13日

〔リリースに関するお問い合わせ先〕

広報部 TEL.0568-77-4222 <http://www.sumitomoriko.co.jp/>